

◆ 平成27年度活動報告シート ◆

団体名：NPO法人 いろいろ生きものネット埼玉

代表者：代表理事 脇坂純一

URL : <https://sites.google.com/site/saitamainenet/>

1. 活動が必要とされた状況

- ① 埼玉県の外來生物の状況把握と除去活動：情報量を増やすため、昨年度の活動団体アンケート調査を補完する市町村アンケートを実施する。原市沼川の特定外來生物オオフサモは、しぶとく繁茂しているため、引き続き除去活動が必要。
- ② さいたま緑の森博物館における森林整備活動及び自然環境の普及啓発：貴重な里山である狭山丘陵の保全活動は、継続的な取組が必要。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

- ① 埼玉県の外來生物の状況把握と除去活動
 - ・ H27/5 に、県内 63 市町村の担当課を対象に外來動植物に関するアンケート調査を実施し、34 自治体から回答を得て集計、分析し H28/2 に報告書を公開した。
 - ・ H27/4 と H27/10 に特定外來生物オオフサモの除去活動を原市沼川で実施した（延べ 30 人参加）。現地のモニタリングは継続的に実施している。
 - ・ H28/2/14、増加著しい外來生物のアライグマをテーマに第 2 回生きものフォーラムを 81 人の参加者を得て開催。この場で、アンケート結果についても報告した。
- ② さいたま緑の森博物館における森林整備活動及び自然環境の普及啓発
 - ・ H27/5/31 に第 5 回活動：コマうちしたホダギの本伏、下草刈り（9 人参加）
 - ・ H27/10/25 に第 6 回活動：下草刈り（7 人参加）
 - ・ H28/3/13 に第 7 回保全活動予定：常緑広葉樹の除伐、下草刈りを予定



3. 活動の成果

- ・ 昨年度 NPO を対象として実施したアンケート調査に加え、自治体を対象とした調査を実施したことで、埼玉県における外來種の状況がかなり明らかとなった。
- ・ 外來種に対する市町村の課題（アライグマ対策が最も重要）が明らかになった。
- ・ 引き続きオオフサモの除去活動を実施し、効果的な除去方法、処分方法がわかった。
- ・ 外來生物アライグマの実態をフォーラムを通じて発信し、県民理解の端緒とした。
- ・ 緑の森博物館の当団体管理地（0.9ha）の里山整備が進んだ。

4. 今後に残された課題

- ・ 社会全体の外來植物除去の取組が不足しているため、対策を促進する情報発信役を担いたいと考えるが、そのための自らの経験と先進団体の活動情報の収集が必要。
- ・ 原市沼川のオオフサモ除去活動は継続し、詳細情報を発信したい。
- ・ 除去活動や森林整備活動の新人の勧誘はなかなか難しいことがわかったため、整備活動だけでなく、楽しみを持って取り組める工夫も必要である。